

2012年・・・新しい年を

暮らしを守る年に

国保税引き下げを求める署名にご協力を

「国保税が高すぎて払えない」「払ったら生活ができない」という声は切実です。別府市の国保税は平成20年4月から多くの方が4割以上も値上げされ、右の表のように県下最高クラスになりました。

その結果、21%と5世帯に1世帯(21%)が滞納を余儀なくされており、社会保障制度のひとつである国保税が、逆に市民の生活をおびやかしています。誰もが安心できる国保制度にするために次のことを求めます。

《署名の要望項目》

- 1、高すぎる国民健康保険税を引き下げること。
- 2、低所得者のための減免制度を充実すること。
- 3、国や県に対して支援の拡大を求めること。

こんな国保行政でよいのでしょうか？

1、財政安定化支援金の市負担分をくり入れてこなかった別府市

国保税を低く抑えるための「国保財政安定化支援金」(財源は国80%、市20%)
別府市は長年、20%分(H10~H19の10年分で9億円)を国保会計に入れなかった
H21年度からは、日本共産党の批判を受けて、財政安定化支援金のくり入れを始めた。

2、市民所得は県下最低クラスなのに、なぜ国保税は県下最高クラス？

別府市民一人あたり所得は184万6千円(H20)、県下14市のうち12位
同じ所得で比べると、国保税は上の表のように県下最高クラス。これでは払えません。

3、4億円の未収金があっても、2億4千万円の黒字(H22決算)

高すぎて滞納率は県下最高。それでも国保会計は大幅な黒字。取り過ぎです。

《提案》例えば、一般会計の負担を2億円増やせば、1世帯約1万円引き下げできます。
さらに、国と県の負担を増やすよう求めること。

県下の国保税【H22】

【所得夫124万、妻ゼロ、子供2人の場合】

竹田	31万6700円
別府	30万6300円
臼杵	30万2600円
高田	29万2300円
杵築	27万8600円
佐伯	27万5300円
大分	26万9200円
津久見	26万6700円
日田	24万8100円
宇佐	24万2000円
中津	22万8500円
大野	21万8300円
由布	21万6800円
国東	21万6700円